

# 災害時の避難所開設初動リーダー



各区5名が活動していただいています

# 柘植地域 まちづくりだより 第194号

**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)  
〒五一九一四〇二二  
電話 四五七八八八〇 FAX 四五七八八八三  
**発行日** 二〇一七(平成)二十九年八月一日(火)  
柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー  
一体は  
天向く羅漢  
萩の花  
石河宏子

初動リーダーの皆さんを下表にて紹介させていただきます。よろしくお願ひします。  
自主防災実行委員会

## 各区 避難所の割り当て

**柘植小学校**  
岡鼻・小林・上町・柘植青葉台

**柘植中学校**  
下町・倉部・山出・上村・野村・中柘植

**いがまち人権センター** 前川

小杉区高齢者等  
**活性化センター** 小杉

7月18日(火)夜、市民センターで、自主防災活動の大きな要である避難所開設について、初動リーダーの全体会議が開かれました。

各区より5名のリーダー(各係)が選出され、災害時に柘植地域4カ所で開設を想定する避難所(発災から24時間)初動期の運営の流れを確認しました。

実際の災害発生時には初動リーダーがすべてそろって活動することは難しいと想定されるため、そのときに臨時の業務を遂行することも視野に話し合いがされました。

## ① 柘植小学校 初動リーダー代表(中村友香)

運営本部	総務	受入	管理	救護
加茂良啓	辻上和永	木澤克司	柳正美	福島和美
藤井建	山尾知生	西川悟司	加藤順人	片岡良章
富田昌義	松山速夫	松山天良	岡田紀見子	辻本ひで子
中村友香	岡島史子	辻本佳奈	八幡香織	

## ② 柘植中学校 初動リーダー代表(亀井久次)

運営本部	総務	受入	管理	救護
福森克美	小西建治	宿谷義彦	中西哲也	藤岡英郎
亀井久次	笹島恒夫	藤井洋光	鳥喰辰夫	岡山博文
西井正和	藤井活巳	八百田政生	中西英雄	森口剛
佐治弘美	小川充比己	中森清員	中澤はるみ	安岡泰志
清水圭子	安岡昌子	藪本弘子	西口多美子	片岡睦子
	中西清子	福森ひとみ	山川英子	

## ③ いがまち人権センター 総括(高橋春光)

運営本部	総務	受入	管理	救護
坂井悟	辻元真澄美	岸田貞子	坂井英明	広岡美加

## ④ 小杉区高齢者等活性化センター 総括(西田拓治)

運営本部	総務	受入	管理	救護
増田雅己	岡島宮子	松山久嘉	堀川康幸	松本将子

# 熊本地震での

# 教訓に学ぶ…

7月20日(木)午後、柘植中学校で、防災懇談会が開かれ、まちづくり協議会自主防災実行委員会から役員4名が、教職員のみなさんといっしょに防災について学習と懇談を行いました。1等に記したように、柘植小学校と中学校は指定避難所になります。原則、学校は子どもたちの場であるので、

## いざというときの避難所開設・運営に役立たせさせるために



柘植中学校会議室にて

使い方次第ではいろいろとトラブルが起ころうと想定されます。  
(実際、被災地ではそうした事例がある)

教育施設としての学校の位置づけをふまえ、避難所としてよりよいあり方となるよう、住民意識の上でも確認しておく必要があります。

### 災害時の学校の役割とは

- 1 児童生徒の安全・安心の確保
- 2 教育活動の早期再開・復旧に向けての取組
- 3 施設管理者としての避難所運営への協力

今回の研修では、県教育委員会の学校防災・危機管理班職員の方からうかがった熊本地震時の事例を参考に、学校や地域のメンバーに負担が過重にならないようにすること、先生は子どもたちの安否確認や教育が本来の業務であることなども地域として理解していく必要があることが確認されました。

一方、中学生が地域の一員として「助ける側」の立場で取り組めることについて、教育的な見地から重要です。日頃から学校教職員・保護者を含む地域住民のつながりを密にしておくことがなにより大切であることが確認されました。

### 【お知らせ】

## 第15回伊賀の国柘植の斎王群行

開催日：10月9日(月・祝) 昼12時30分～

会場：式典・都美恵神社境内

コース：都美恵神社～上町区～下町区～野村区～中柘植区→斎宮芝

今年で15回を迎える斎王群行…。都美恵神社境内にて行っている「禊の儀」は好評で、今回も雅楽司・慶の司様にご参加いただき、式典を盛り上げる予定です。写真コンテストや俳句の募集も行います。実行委員会一同、頑張りますので、地元の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今年度は地区の皆さん方にも参加頂きたいと思っております。募集の詳細については、ホームページのお知らせ等をご覧ください。斎王群行実行委員会



# 旧柘植保育園跡地 工事状況



平成28年3月末をもって閉園となつた旧の柘植保育園。旧の柘植第2保育園が、新・柘植保育園として開園し2年目となりました。

残された跡地については、昨年度、跡地検討委員会(委員10名)として、11回に及び会議ならびに8回以上の関連施設などの視察を通じ、「跡地活用計画(中間案)」を1月に作成しました。その後、住民提示・パブリックコメント期間を経て、平成29年2月に最終報告として活用計画を策定したところです。

「跡地活用計画」については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。



遊具撤去が済み、車両進入路の工事が進む跡地 (7月21日撮影)

すでに、その「計画」にある2団体が「地域住民の憩いの場及び介護予防事業の実施」と、「介護保険事業(アイサービス)の実施」をするために工事が進んでおります。冬が来るまでは、工事が終わる予定です。

# 福祉面から考える 地域交通

## 地域交通

つげふくしネット

7月28日(金)夜、市民センターで、講師に伊賀市議会議員で伊賀移動送迎連絡会会長の川上善幸さんを迎え、「地域福祉交通」をテーマにして研修会を開催しました。



地域交通の現状のお話として、三重交通株式会社が実施している免許を返納した方のバス乗車運賃半額制度の限界や課題、将来の地域交通のありようとして「比自岐コスモス号」タイプか「登録不要の活動」タイプかを選択することなどについて、わかりやすく説明していただきました。



後半は円形になって質疑応答と交流を行い、郵便局・信用金庫の方からは窓口対応時の様子を報告いただいたり、社協からは青山や大山田での実状を報告いただいたりしました。参加した30数名は、将来の柘植地域での「移動」について考えを深め合いました。

# 柘植地区市民センター からのお知らせ

## 即時交付サービスが終了

柘植地区市民センターで実施してまいりました「住民票・印鑑証明・税務証明」等の即時交付業務が行政改革の一環で、8月末日で終了となります。9月からは申請はできませんが、後日交付(郵送または窓口)となります。

伊賀支所に確認したところ、次のような「交付実績」があったことがわかりました。

- 平成24年度：264件(税務証明を除く)
- 平成25年度：298件(税務証明を除く)
- 平成26年度：265件
- 平成27年度：247件
- 平成28年度：174件
- 平成29年度：76件 (7月末現在)

これまでたくさんのご利用ありがとうございました。

伊賀市では、「住民票」等のコンビニ交付を推進していますが、そのためにはマイナンバーカードが必要となります。先日回覧しましたように、8月8日午前、市職員を招いて、サービス終了に至った経緯の説明とマイナンバーカードの交付手続きと活用方法の講習会を開催します。ご希望の方はセンターまでお申し込みください。



# シリーズ 柘植の歴史と民俗を学ぶ(訂正とお詫び)

本シリーズ「万寿寺の延命地蔵菩薩」の記事(『まちづくりだより』193号掲載)に関して、次の2点について徳永寺さまよりご指摘をいただきました。(田中重之)

## ①「昭和7年3月25日、近くの徳永寺で落慶法要がありその祝いの煙火で万寿寺は昼火災に遭い、…」

万寿寺火災の原因については、徳永寺の「はたび」の火が飛んで屋根(当時の万寿寺は萱葺きであった)に燃え移ったという説と、万寿寺内で使用していた薪ストーブの煙突の過熱が原因という説があり、地元の警察が調査したが決定的なことは判明できず、最終判断は「出火原因は不明」となった。

## ②「彼(富田彦六)は長福寺を再興したあと住職を勤め、…」

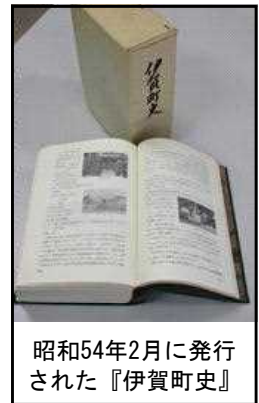
富田彦六が長福寺の住職を勤めたとされる年よりのち、彦六の父親の葬儀が徳永寺で行われたことが徳永寺の記録に残っている。長福寺の住職をしていた人が父親の葬儀を徳永寺で行うというのは理解に苦しむ事であり疑問を感じる。

①については、『伊賀町史』(1203頁)では単に「火災により全焼」とあり、原因については記述がありません。しっかりと調べもせず断定的な書き方をしてしまいました。

②については、手元の資料を確かめましたが「富田彦六が住職を勤めた」という記録が見つからないので私の思い込みで間違っ書いてしまったものです。

以上2点について、いずれも私の浅はかな考えと十分に吟味しない記述により関係の皆様多大のご迷惑をおかけしたこと深くお詫びし、これらの文言を削除させていただきます。

なお、徳永寺ご住職さまからうかがった話を次に紹介し、みなさまのご理解をいただきたいと思います。



昭和54年2月に発行された『伊賀町史』

万寿寺火災について、<菩提寺を焼失なされた山出区民の方々の気持ちは収まる事が出来なかつたはずだが、警察の判断が出ない現状でこれ以上の原因究明はこの村の将来に禍根を残すことが心配されたため、それならば…>ということで、万寿寺本堂の再建は徳永寺側の負担で行い、その代わりにこの件は以後「不問に付す」とし、村民の関心が集まる中で落着をみた>と先代の住職から申し送りを受けている。『伊賀町史』など公刊された書物等で、火災の事実は書かれていても出火原因について一切触れられてこなかったのはこの合意が生きていたからだと思う。

(田中重之)

### ★☆☆事務局だより☆☆★

▼気象庁によると、7月19日頃に梅雨明けたということですが、その後、湿度の高い蒸し暑い日が続いています。全国各地で豪雨等の災害状況が報道されています。▼1階に掲載した自主防災組織の件については人命や財産にも関わることに、自主防災実行委員会・避難所初動リダーならびに各区にある自主防災組織の確立が必須であると、防災に対する意識向上が欠かせません。また今年には学校職員の方々と、もつなぐを深めています(2頁)。消防団組織ともども、日頃より非常時に対する意識を高めておきたいものです。▼柘植仏教会から、各戸に号外『法悦』初盆一覧表が届いて、壬生野地域の一覧表についても、まち協事務局に配布しております。ご入り用の方には配布中です。▼先号掲載の『シリーズ柘植の歴史と民俗を学ぶ』について、担当者の田中重之さんから、訂正原稿をいただきました。▼一方、掲載記事がきっかけで、民の皆さんが話題にしたい歴史、こと自体は、まさに「柘植地域の歴史を学ぶ」ことでもあります。これから、広報編集発行委員会にご意見、ご要望をお届けください。(西田方計)